



愈よ架換えられる

照明装置の「幽霊橋」

工費一萬二千圓の給電筋に
城山、杉平方面の一美観

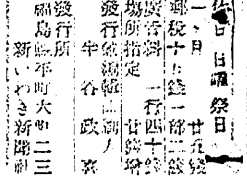
平町の舊城跡六間門通りから八幡小路に移る縣道湖澤澤通り上の陸橋高麗橋は昨秋の暴風雨に荒されて以来腐朽甚だしく現に車馬の交通を絶つてゐるので町では本年の災害復舊追加算に一萬二千圓の架け換え復舊を縣に向つて申請中であつたが今回急ぎ認められて明年一月末頃着工の運びを見るところとなつた右架換の補助は工費に對する七割

石城モミ貯割當は

一萬七千三百石

俵米に換へ二千五百六十二俵
昨十二日の協議會内容

石城郡に於ける穀貯蔵協議會は既報の如く昨十二日午前十時から平町團休事務所樓上に於て開催された縣の臨時は小松主事と廣岡技手で各町村關係者多數の出席に協議された大要は本縣の貯蔵割當二十萬九千石に對する石城郡は一萬七千三百石で貯蔵獎勵金は一石に付き一ヶ月十錢の外に解除に當つて十錢を給し貯蔵の期間は本年十二月一日から明年十月三十一日まで
産業組合倉庫、農業倉庫、農事實行組合(法人倉庫)



山田信購組合に

地元小賣商から怨嗟の聲

酒類を販賣して非難さる
山田村産業信用購買販賣利用組合は此程漸く産聲を擧げ同村大林に事務所を設け購買販賣を開始したが其の販賣には日用品は勿論酒類に至る迄營業品は三、四名の配達人まで置いて買上品を配達する等至り盡せりのサービス振りにので營業成績頗るよくなつた同村一般小賣商は悲鳴を擧げて組合を怨嗟し尙ほ識者間に於て酒類販賣を組合で行ふは自力更生を叫ぶる、今日矛盾も甚だしと創立早々に同組合に對し各方面より非難の聲が揚つてゐる

山田村實行組合

に合同指導講演

石城郡山田村には十五の農事實行組合を現存するが右に對して郡農會の柴田技手外同村小學校長及び信用組合理事並役員等十一名から五日間の豫定を以て毎日午後一時から同五時

植田署新廳舎

きのふ竣工検査

植田警察署新廳舎は工費約一

鮫川臨時總會

二十日及び二十一日の兩

日平町團休事務所樓上に臨時總會を開き豫定通り進んでゐた改修工事の着工その他に關して決議をなすと

農産品評

神谷と平の聯合

平と神谷村聯合の農産物品評會は来る十五、六、七の三日間神谷小學校に於て催されるが家畜類を除いて出品約六百頭に上るであらうと

義士余談

貞佐と春帆

非常時に際して武士道の精華と云はれる赤穂義士の片鱗を語るのも人心作興の一助となれかしと思ふからで殊に今月は義士月である此の一小

ジスイットは十六世紀中頃ルuter宗教改革に對し舊教主義の反對として起れる基督教的の教團、目的、手段を違はざるが、エニットは後者、策略家或は陰謀家のことだ

旅役者と断落した

意志の弱い十九娘

伊達郡立子山村若上坂字長坂二九番今朝五郎二女國島いし(二)假名は同地に興行せる掛芝居見物から年令二十二、三才位の後者某と若い同志の懇意になり肚の黒い後者某は石城郡内郷村の宮に洋食屋惠比壽を開業してゐる加藤正夫の妻が自分の實姉に當るので良い女給があるからと電報して旅費を取寄せ二人手を携へて去る十一日夜郡山驛前丸山旅館に夫婦と稱して宿泊の後平町まで落ちのびた昨十二日夜夫婦を誘つた後者某の態度が變なため女給に賣り飛ばされるところに泣く泣く(駈込んで)次弟を訴へ郷里立子山から引取りの来るまで平署に保護を受ける一方内郷村惠比壽食堂その他の關係者を取調べられてゐるがいは相手の男の名も知らない不要意には署員もあきれてゐる

四名の花合戦

平町雨町四一居住葉子屋東京

市赤坂區青山北町四一〇三生れ橋本忠一(美)方に於て昨十二日午後八時頃忠一郎外同町六丁目四新聞張員石城郡江名町の江名字北町坂本梅治(元)同郡赤井村の赤井字久保田一四(農)上義男(三)平町胡澤澤生れ當時同町南町五八居住飾り職堀正三(三)四名が奥座敷で現金賭けの花札合戦中平署員に踏込まれて全部逮捕取調中である

小川江水利の臨時總會

石城郡小川江水利組合では改

修工事に關する委員の會議を重ねてゐたが急ぎ着工の管で来る二十二日平町團休事務所樓上に臨時總會を開催する由

五錢奉仕金

(奉仕各位)

金五十錢(十ヶ月分)久保田六五郎 金十五錢(三ヶ月分)馬目雅治 金五錢(木澤三郎 大平勇 常計八十錢 累計金四十七圓八十五錢(以上平庶民金庫現在預入額)

つれづれ話

谷口安比呂

學校は低度がいほど情合ひがある、小學校に於ける師弟の睦しきは中等學校に見る事は出来ぬ、更に上へ行くほど天下御免、ダンスをする者、情婦をかこつて其處から學校へ通ふ者、イヤハヤ常人と少しも變らなくなる、東京には社會が随分あるが暴力團も近頃には随分なつて來た、其れは五十圓の資本で數百圓を働くので先づ一株を買ひ會社の總會に押しかける、何か會社で發表すると直ぐ何れかに容をつける、重役が若し控を給へると言ふと其れが付け目なので、何をツ株主に向つて失敬なとチラリ短刀を見せる、成ほど一株でも持てば株主なので此れ以上騒がれては會社で損だから別室に招いて二百圓位包む、彼れ新ギヤング君傲然とや、ぢや丹能すのうよとかでアと巻煙草を吹く、九十圓の資本で二百圓の配當とは不埒だが會社でも一々喧嘩できず大目に見るらしい、お手柔らかになんて立關へ送り出す、會社員こそイ、面の皮が押し強い性惡に掛ると其以外にないらしい

祖母ナヲ儀病氣加療中の處不叶

養生今十三日午前五時死去仕候

追而葬送の儀は來十二月十五日午後二時自宅出棺内郷村清光院に於て佛式相替申候
十二月十三日
石城郡内郷村
馬目太平次

頃には智能的になつて來た、其れは五十圓の資本で數百圓を働くので先づ一株を買ひ會社の總會に押しかける、何か會社で發表すると直ぐ何れかに容をつける、重役が若し控を給へると言ふと其れが付け目なので、何をツ株主に向つて失敬なとチラリ短刀を見せる、成ほど一株でも持てば株主なので此れ以上騒がれては會社で損だから別室に招いて二百圓位包む、彼れ新ギヤング君傲然とや、ぢや丹能すのうよとかでアと巻煙草を吹く、九十圓の資本で二百圓の配當とは不埒だが會社でも一々喧嘩できず大目に見るらしい、お手柔らかになんて立關へ送り出す、會社員こそイ、面の皮が押し強い性惡に掛ると其以外にないらしい

頃には智能的になつて來た、其れは五十圓の資本で數百圓を働くので先づ一株を買ひ會社の總會に押しかける、何か會社で發表すると直ぐ何れかに容をつける、重役が若し控を給へると言ふと其れが付け目なので、何をツ株主に向つて失敬なとチラリ短刀を見せる、成ほど一株でも持てば株主なので此れ以上騒がれては會社で損だから別室に招いて二百圓位包む、彼れ新ギヤング君傲然とや、ぢや丹能すのうよとかでアと巻煙草を吹く、九十圓の資本で二百圓の配當とは不埒だが會社でも一々喧嘩できず大目に見るらしい、お手柔らかになんて立關へ送り出す、會社員こそイ、面の皮が押し強い性惡に掛ると其以外にないらしい

頃には智能的になつて來た、其れは五十圓の資本で數百圓を働くので先づ一株を買ひ會社の總會に押しかける、何か會社で發表すると直ぐ何れかに容をつける、重役が若し控を給へると言ふと其れが付け目なので、何をツ株主に向つて失敬なとチラリ短刀を見せる、成ほど一株でも持てば株主なので此れ以上騒がれては會社で損だから別室に招いて二百圓位包む、彼れ新ギヤング君傲然とや、ぢや丹能すのうよとかでアと巻煙草を吹く、九十圓の資本で二百圓の配當とは不埒だが會社でも一々喧嘩できず大目に見るらしい、お手柔らかになんて立關へ送り出す、會社員こそイ、面の皮が押し強い性惡に掛ると其以外にないらしい

頃には智能的になつて來た、其れは五十圓の資本で數百圓を働くので先づ一株を買ひ會社の總會に押しかける、何か會社で發表すると直ぐ何れかに容をつける、重役が若し控を給へると言ふと其れが付け目なので、何をツ株主に向つて失敬なとチラリ短刀を見せる、成ほど一株でも持てば株主なので此れ以上騒がれては會社で損だから別室に招いて二百圓位包む、彼れ新ギヤング君傲然とや、ぢや丹能すのうよとかでアと巻煙草を吹く、九十圓の資本で二百圓の配當とは不埒だが會社でも一々喧嘩できず大目に見るらしい、お手柔らかになんて立關へ送り出す、會社員こそイ、面の皮が押し強い性惡に掛ると其以外にないらしい

頃には智能的になつて來た、其れは五十圓の資本で數百圓を働くので先づ一株を買ひ會社の總會に押しかける、何か會社で發表すると直ぐ何れかに容をつける、重役が若し控を給へると言ふと其れが付け目なので、何をツ株主に向つて失敬なとチラリ短刀を見せる、成ほど一株でも持てば株主なので此れ以上騒がれては會社で損だから別室に招いて二百圓位包む、彼れ新ギヤング君傲然とや、ぢや丹能すのうよとかでアと巻煙草を吹く、九十圓の資本で二百圓の配當とは不埒だが會社でも一々喧嘩できず大目に見るらしい、お手柔らかになんて立關へ送り出す、會社員こそイ、面の皮が押し強い性惡に掛ると其以外にないらしい

頃には智能的になつて來た、其れは五十圓の資本で數百圓を働くので先づ一株を買ひ會社の總會に押しかける、何か會社で發表すると直ぐ何れかに容をつける、重役が若し控を給へると言ふと其れが付け目なので、何をツ株主に向つて失敬なとチラリ短刀を見せる、成ほど一株でも持てば株主なので此れ以上騒がれては會社で損だから別室に招いて二百圓位包む、彼れ新ギヤング君傲然とや、ぢや丹能すのうよとかでアと巻煙草を吹く、九十圓の資本で二百圓の配當とは不埒だが會社でも一々喧嘩できず大目に見るらしい、お手柔らかになんて立關へ送り出す、會社員こそイ、面の皮が押し強い性惡に掛ると其以外にないらしい

頃には智能的になつて來た、其れは五十圓の資本で數百圓を働くので先づ一株を買ひ會社の總會に押しかける、何か會社で發表すると直ぐ何れかに容をつける、重役が若し控を給へると言ふと其れが付け目なので、何をツ株主に向つて失敬なとチラリ短刀を見せる、成ほど一株でも持てば株主なので此れ以上騒がれては會社で損だから別室に招いて二百圓位包む、彼れ新ギヤング君傲然とや、ぢや丹能すのうよとかでアと巻煙草を吹く、九十圓の資本で二百圓の配當とは不埒だが會社でも一々喧嘩できず大目に見るらしい、お手柔らかになんて立關へ送り出す、會社員こそイ、面の皮が押し強い性惡に掛ると其以外にないらしい

